

「かけられて嬉しい言葉は何ですか」人権参観日・講演会

今日、人権参観日を行いました。平日の開催でしたが、多くの保護者・ご家族の方に参観いただき、ありがとうございました。



1年生は「となりのたぬき」  
2年生は「二つのバケツ」3年生は「やくそくげんまん」4年生は「おい、わたしの口」5年生は「みんなの秋祭り」6年生は「百日かせぎ」の授業を行いました。どれも学年の発達段階に応じて人権を考えるのに適した教材と捉えています。

また、児童がより一層、学習内容の理解を深め、定着できるようにと今日の授業内容を家庭で話し合っていたいただく期間を『家庭対話の日』と題して設けています。今年度は9月28日～10月14日です。ご家庭で話し合われたことや感想などは、今後の指導に活かしたいと思いますので、参観いただいた感想も併せて担任までお寄せいただきま



すよう、よろしく申し上げます。

またPTA主催の人権講演会として、ら・ぱん工房来古里の方々にお越しいただき、「障がいのある人への理解～障害のあるなしに関係なく、相手を知ることが、理解への大きな一歩」と題してお話しいただきました。車いすを利用しながら、工房で働いておられる方も講師としてお越しいただいていました。



後の質問タイムで、子どもたちが次々に手を挙げている姿は、講演の題にある「相手を知ることが

理解への第一歩」だと感じました。6年生の子が車いすの方に「かけられて嬉しい言葉は何ですか」と尋ねていました。「『ありがとう』と言ってもらった時が一番嬉しいです。」と答えられたのを聞いて、ら・ぱん代表の高見さんが、「『ありがとう』って障害のある方が何かをしてもらった時によく使う言葉でもあります。「ありがとう」ってみんなにとって嬉しい言葉なんですね。」と話してくださったことは、多くの子どもたちの心に残ったのではないかなと感じました。

こうした機会をつくっていただいたPTAの方々に改めて感謝申し上げます。

